

**伊豆の国市
まちづくりに関するアンケート
(高校生)
調査結果報告書**

**令和6年8月
伊豆の国市**

目次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	報告書を見る際の注意点	1
II	調査結果	3
1.	あなたご自身のことについて	3
F 1	性別	3
F 2	現在通っている学校	3
F 3	学年	4
F 4	居住地区	4
F 5	将来希望する職業	5
2.	伊豆の国市での暮らしについて	9
1	伊豆の国市のPR	9
2	普段の暮らしの中で困っていること	11
3.	第3次伊豆の国市総合計画の策定に向けて	13
3	今後、市はどのようなまちづくりに力を入れていくべきか	13
4	未来の伊豆の国市をどんなまちにしたいか	17
5	思い描いたまちにするために必要な取組	19
6	市民が主役となってまちづくりを進めていくために必要な（参加したい）取組	21
IV	調査票	23

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、第2次伊豆の国市総合計画（2017年度～2025年度）の一環として、市民の現在の生活環境やこれまでの取り組みに対する評価および今後のまちづくりに対する意向を把握するために実施しました。

2 調査設計

調査対象：市内の高校に在学している生徒（2年生・3年生）

調査方法：WEB調査方式

調査期間：令和6年6月～7月

3 回収結果

発送数：約950票

回収数：397票

有効回収数：397票

有効回収率：41.8%

4 報告書を見る際の注意点

- (1) nは各設問の回答者数（回答者母数）を示します。
- (2) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (3) 複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) 単一回答の場合は調査票の選択肢の順、複数回答の場合は回答数が多い順に記載しています。
- (5) 「どちらともいえない」「わからない」「その他」「無回答」等はコメントしていません。

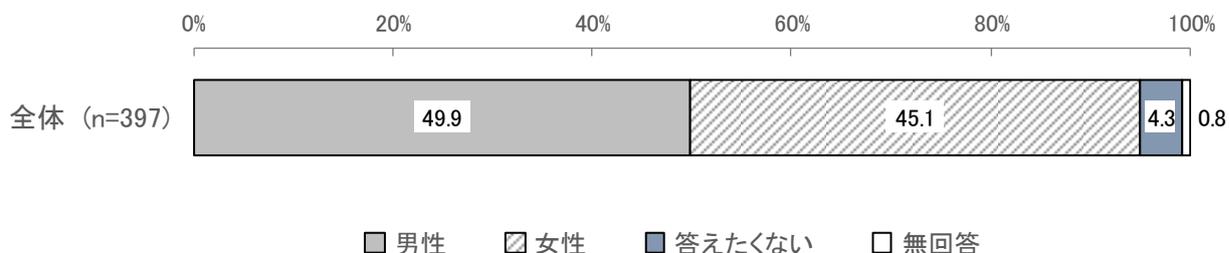
調查結果

Ⅱ 調査結果

1. あなたご自身のことについて

F 1 性別

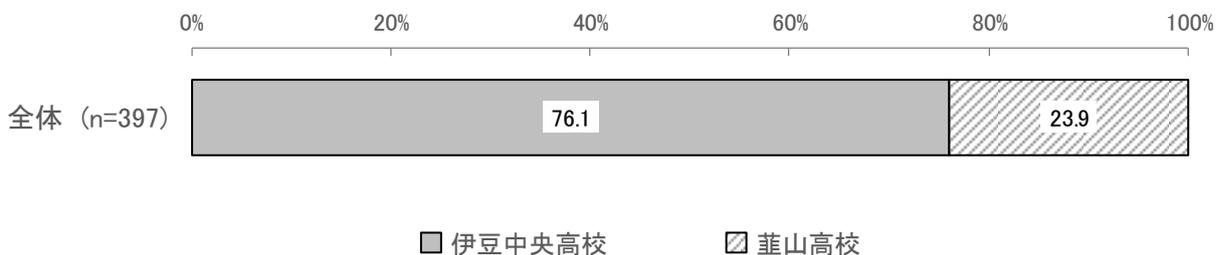
A-01 性別を教えてください。(○は1つ)



性別では、「男性」49.9%、「女性」45.1%となっています。

F 2 現在通っている学校

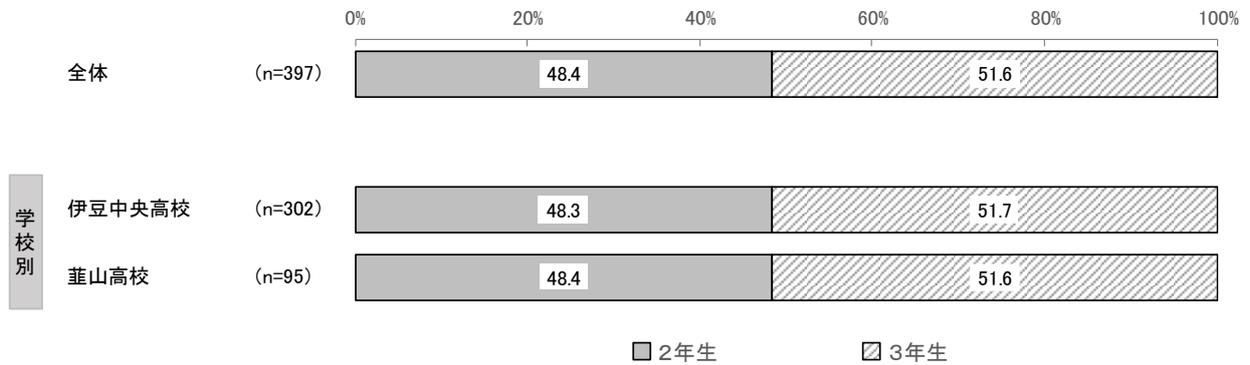
A-02 現在通っている学校を教えてください。(○は1つ)



通っている学校では、「伊豆中央高校」76.1%、「葦山高校」23.9%となっています。

F 3 学年

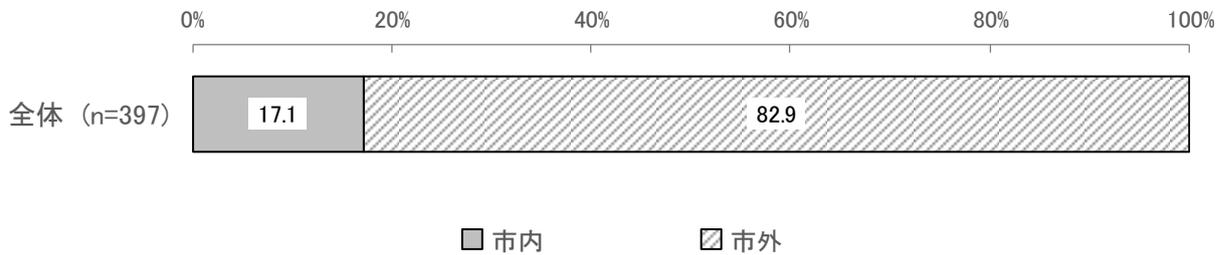
A-03 学年を教えてください。(○は1つ)



学年では、「2年生」48.4%、「3年生」51.6%となっています。学校別でも、全体とほぼ同じ割合となっています。

F 4 居住地区

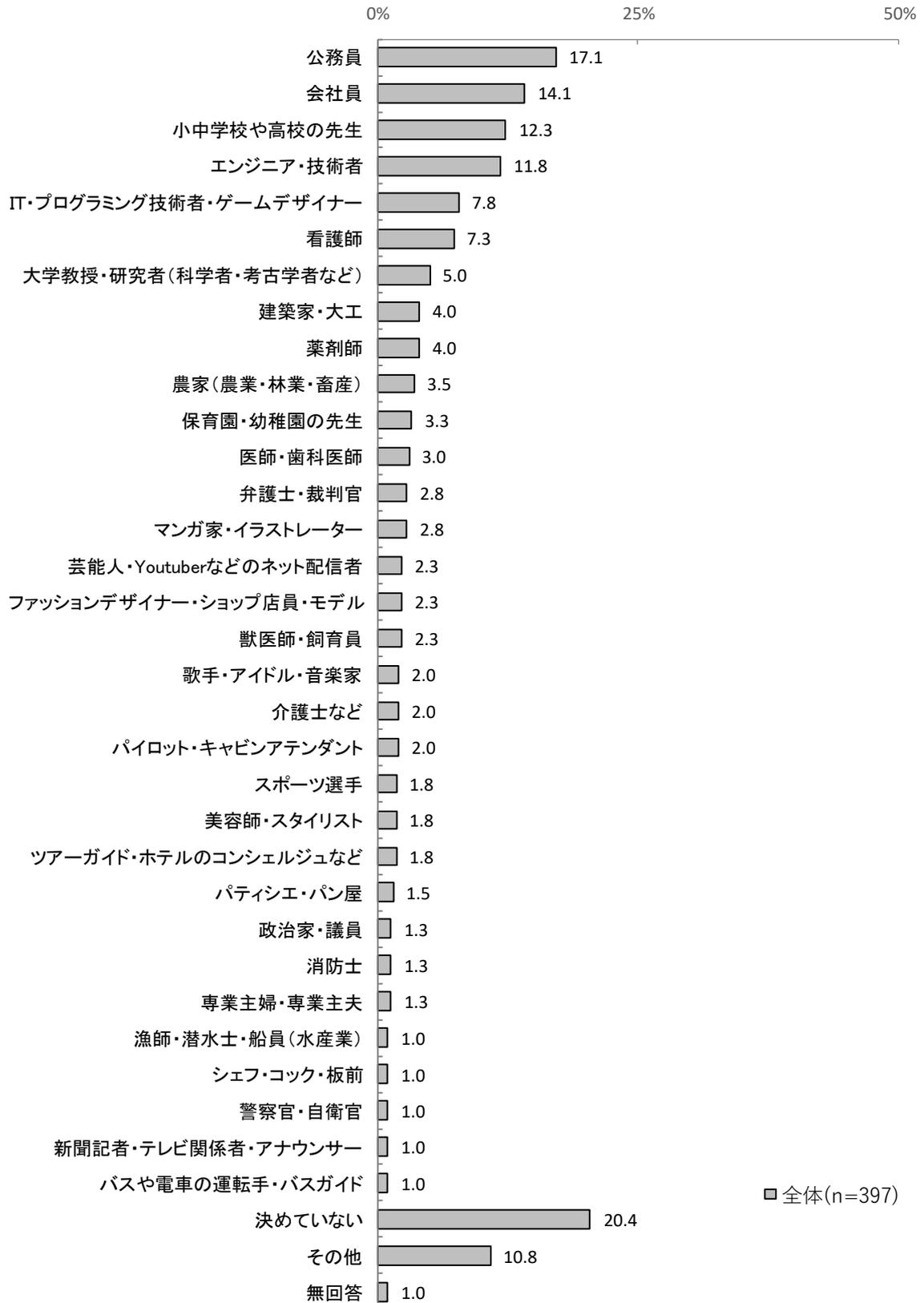
A-04 住んでいるところを教えてください。(○は1つ)



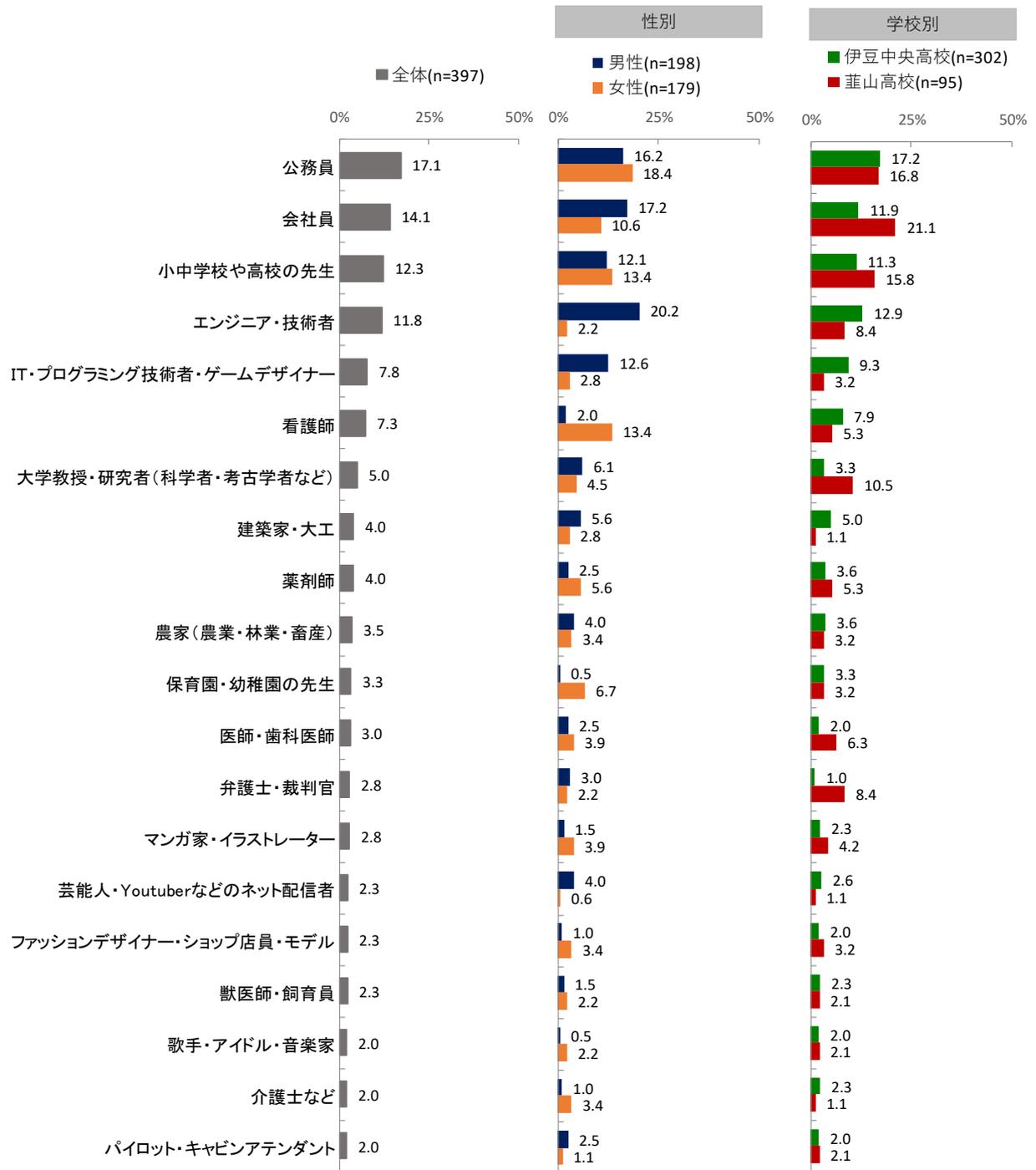
住んでいるところでは、「市内」17.1%、「市外」82.9%となっています。

F 5 将来希望する職業

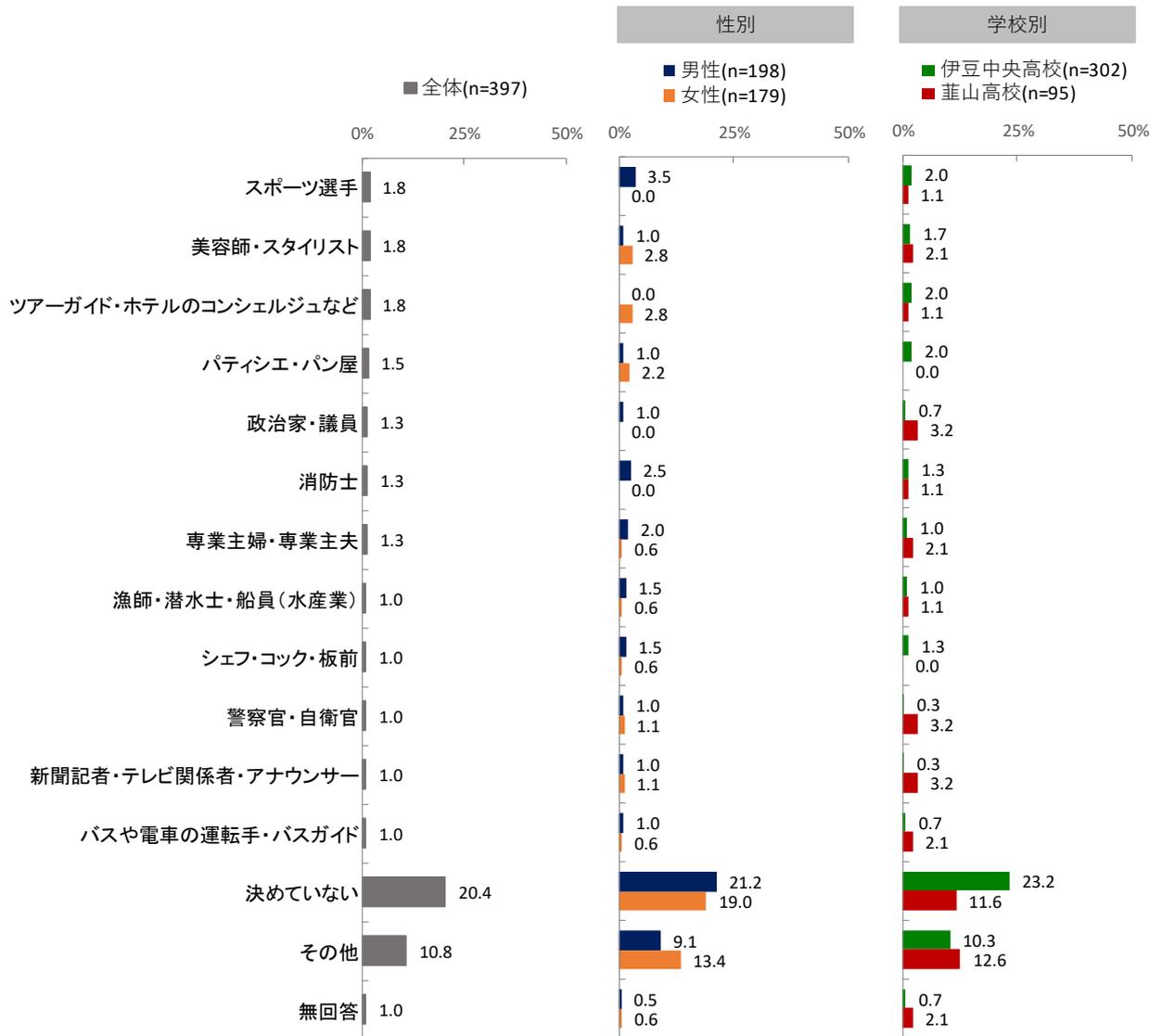
A-05 将来どんな仕事をしたいと考えていますか。(〇は3つまで)



将来どんな仕事をしたいかでは、「決めていない」20.4%が最も多く、以下「公務員」17.1%、「会社員」14.1%、「小中学校や高校の先生」12.3%、「エンジニア・技術者」11.8%と続いています。



(つづき)



将来どんな仕事をしたいかを性別で見ると、男性では「エンジニア・技術者」20.2%が、女性では「決めていない」を除いて「公務員」18.4%が最も多くなっています。また、男女ともに「決めていない」は2割前後と多くなっています。

学校別で見ると、伊豆中央高校では「決めていない」23.2%が最も多く、次いで「公務員」17.2%となっています。韮山高校では「会社員」21.1%が最も多く、次いで「公務員」16.8%となっています。

【その他】

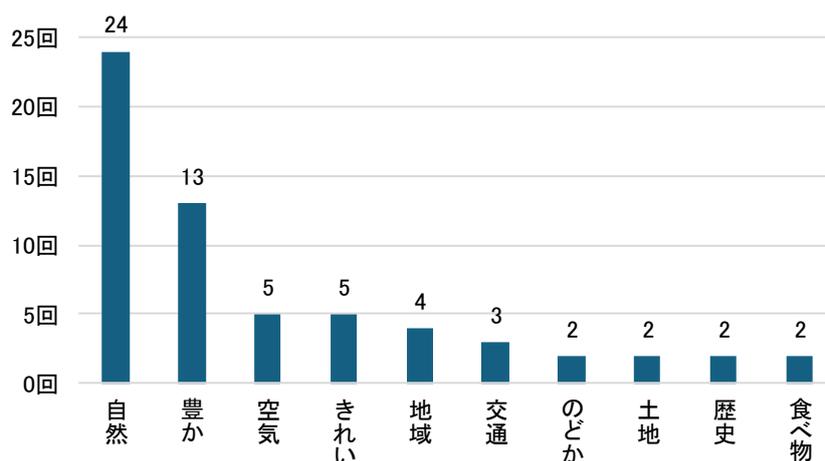
- 栄養士（公認スポーツ栄養士含む）（6件）
- 理学療法士、スポーツトレーナー、作家・小説家（各3件）
- 編集者、心理士、柔道整復師、レーサー・レース業界、音響、会社経営（各2件）
- スポーツアナリスト、代理人、広告代理店、音楽プロデューサー、国際関係の職業、公認会計士
イベント・ライブ関係、車の整備、プロダクトデザイナー、環境系、音楽関係の機材制作、
出版社、舞台芸術関係の仕事、海上保安庁、カウンセラー、化粧品開発、防災に関する仕事
助産師（各1件）

2. 伊豆の国市での暮らしについて

1 伊豆の国市のPR

B-01 あなたが、伊豆の国市に住んだことのないひとに、伊豆の国市の住みやすさを紹介するとしたら、どんなふうにPRしますか。(自由記述)

《名詞の出現回数—上位10件》



※「山」「川」は「自然」にまとめるなど、データの整理を行っています。

10件の名詞（出現回数2回以上の名詞）が検出され、このうち出現頻度の多い順でグラフに掲載しています。

《回答抜粋》

出現回数の多かったキーワード5件についての回答を抜粋しました。「自然」と「豊か」、「空気」と「きれい」は合わせて使われていることが多く、キーワードを合わせて掲載しています。

●自然（24回）・豊か（13回）

- 自然がたくさんあり、都会に見飽きた人が暮らすにはぴったりです。（男性 市内）
- 自然が豊かで心が落ち着いていい。（男性 市内）
- 自然が豊かで地元愛が強い！イベントやマルシェに魅力がある！（女性 市内）
- 自然豊かで穏やかな土地。（男性 市内）
- 自然の豊かさ、農作物の新鮮さ、田舎の静けさ。こういった部分を強調してPRします。（男性 市内）
- 自然豊かで住みやすいです！（女性 市内）

●空気（5回）・きれい（5回）

- 空気がきれい。（答えたくない 市内）
- 自然がたくさんあって空気がおいしい。富士山が綺麗に見える。（女性 市内）
- いちご美味しい。郊外行けば静かで空気美味しいよ。（女性 市内）

●地域（4回）

- 地域の人達は優しく住みやすい街です。 (男性 市内)
- 地域の活動が活発で親切な人が多い。 (男性 市内)

《自由回答の分類結果》

自由回答を内容別に分類した結果は以下の通りです。

(件)

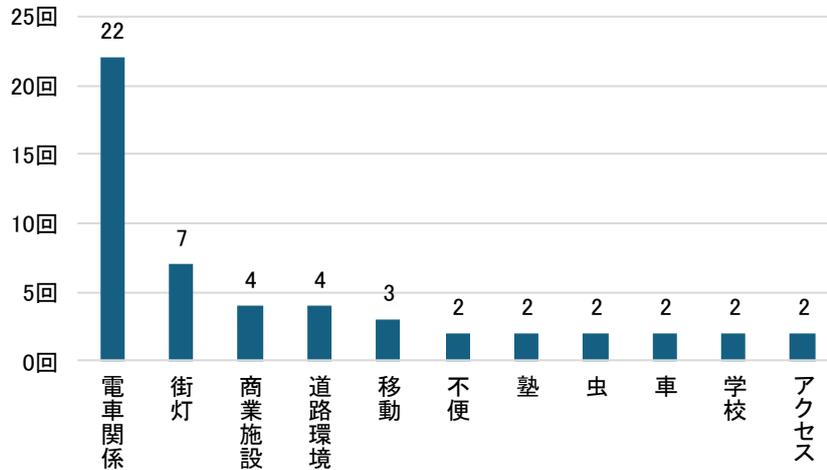
自然豊か	人が優しい	交通の便が良い	暮らしやすい	観光の街
34	9	7	7	4

自然の豊かさ、地域住民の人柄、観光などをPRしたいといった意見が寄せられています。特に自然が豊かで住みやすい土地といった意見が多くみられます。また、首都圏の通勤圏にあるといった移住促進にもつながりうる意見も見られます。

2 普段の暮らしの中で困っていること

B-02 あなたが普段の暮らしの中で困っていることはありますか。(自由記述)

《名詞の出現回数—上位11件》



※「伊豆箱根鉄道」「運賃」などは「電車関係」に、「夜暗い」「夜道」などは「街灯」にまとめるなど、データの整理を行っています。

11件の名詞（出現回数2回以上の名詞）が検出され、このうち出現頻度の多い順でグラフに掲載しています。

《回答抜粋》

出現回数の多かったキーワード5件についての回答を抜粋しました。

●電車関係（22回）

- 伊豆箱根鉄道うるさいです。(男性 市内)
- いずっぱこの始発が遅い。(男性 市内)
- 伊豆箱根鉄道に電車の本数が少ない。(女性 市内)
- 伊豆箱根鉄道の電車賃がとても高く不便です。(女性 市内)

●街灯（7回）

- 毎日、夜10:00に塾から自転車で帰宅しています。でも、帰り道では街灯が少なく、その光も弱いのです。そのため夜道が暗く、怖い思いをしています。もし可能でしたら、街灯の数を増やしていただきたいです。(男性 市内)
- 街灯が少ないため夜暗い。(女性 市内)

●商業施設（4回）

- ショッピングモールなどの遊んだり、買い物できる施設がない。(男性 市内)
- 商業施設が少ない。(女性 市内)

●道路環境（4回）

- 道路のわきにゴミが捨てられている。(男性 市内)

- 車通りが多い道で歩道が狭くて危ない。 (女性 市内)

●移動 (3回)

- 移動が大変 (男性 市内)
- 電車の本数が少ない。交通アクセスが悪い。渋滞の頻発により移動に時間を要す。
(答えたくない 市内)

《自由回答の分類結果》

自由回答を内容別に分類した結果は以下の通りです。

(件)

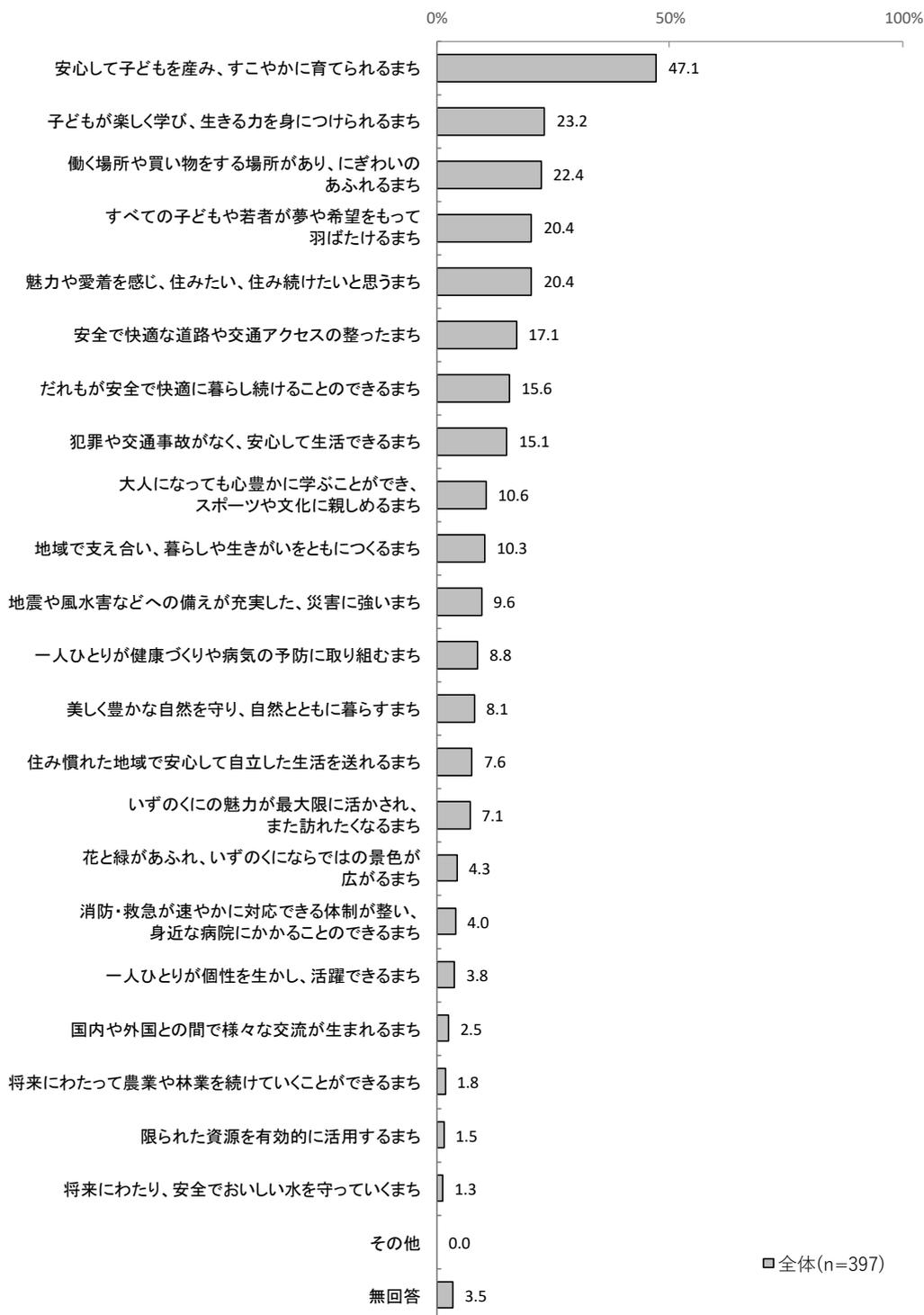
アクセスの不便さ	危険な道路がある	電車代が高い	商業施設が少ない	獣・虫	設備の改修	鉄道の騒音	観光スポットがない
11	9	8	7	3	1	1	1

伊豆箱根鉄道の本数や運賃に関する意見や歩道が狭いといった道路環境に関する意見が多く寄せられています。交通手段が限られる学生にとって、普段よく利用する交通機関や環境の充実が重要であると考えられます。また、商業施設や娯楽が少ないといった意見も寄せられています。

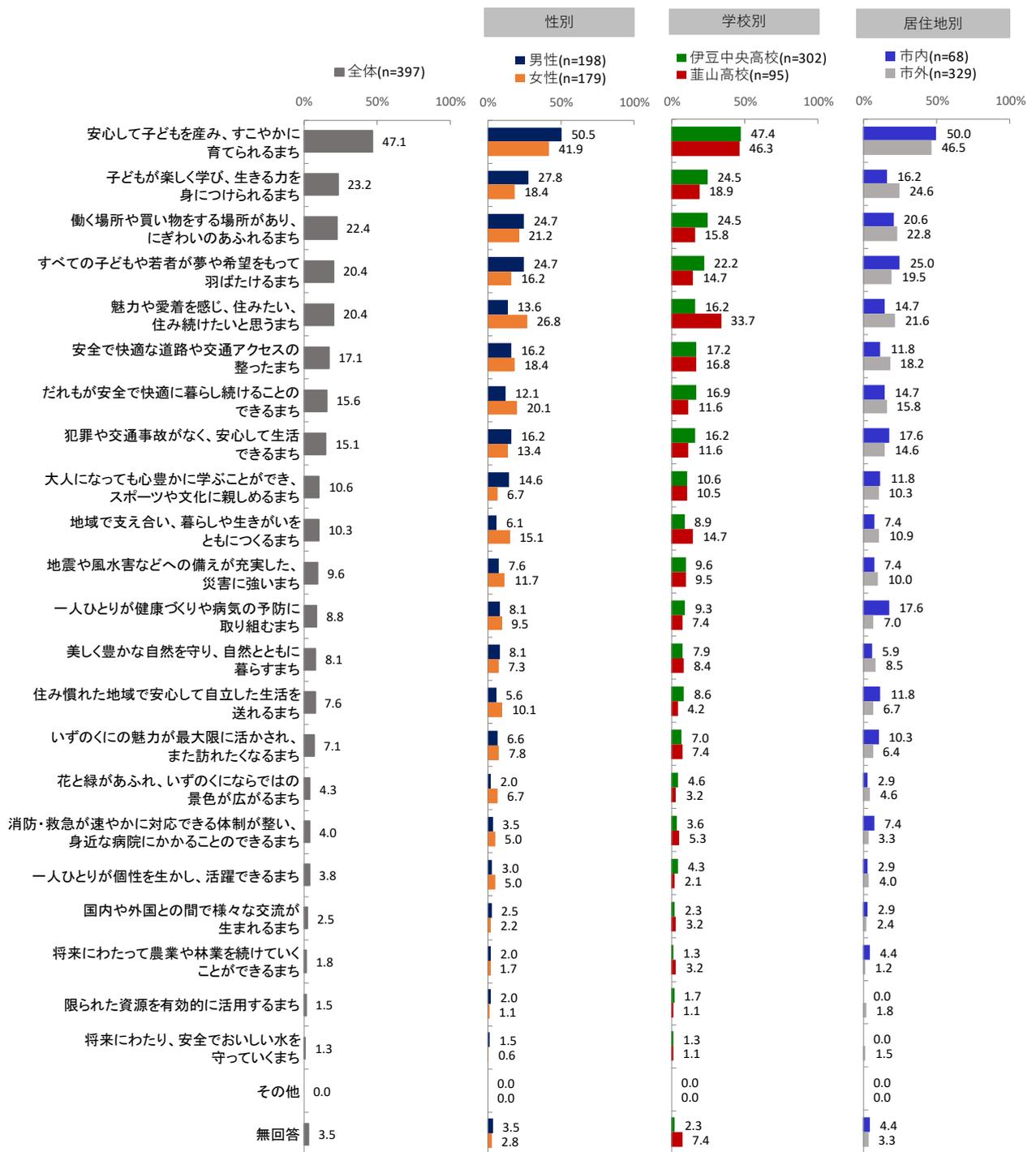
3. 第3次伊豆の国市総合計画の策定に向けて

3 今後、市はどのようなまちづくりに力を入れていくべきか

G-01 「住みたい」「住み続けたい」まちとなるために、今後、市はどのようなまちづくりに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)



どのようなまちづくりに力を入れていくべきかについては、「安心して子どもを産み、健やかに育てられるまち」47.1%が最も多く、以下「子どもが楽しく学び、生きる力を身につけられるまち」23.2%、「働く場所や買い物をする場所があり、にぎわいのあふれるまち」22.4%と続きます。



どのようなまちづくりに力を入れていくべきかについて性別で見ると、男女ともに「安心して子どもを産み、健やかに育てられるまち」が最も多いのは全体と同じですが、次いで、女性は「魅力や愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思うまち」が多くなっています。

学校別で見ると、2校ともに「安心して子どもを産み、健やかに育てられるまち」が最も多いのは全体と同じですが、次いで、韮山高校は「魅力や愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思うまち」が多くなっています。

居住地別で見ると、市内・市外ともに「安心して子どもを産み、健やかに育てられるまち」が最も多いのは全体と同じですが、次いで、市内は「すべての子どもや若者が夢や希望をもって羽ばたけるまち」が多くなっています。

【性別】

(全体との有意差検定) **…有意水準 1%で有意差あり *…有意水準 5%で有意差あり

調査数	や安心して子育てられるまちを産み、すこ	子どもが楽しく学び、生きる	働き場や買い物をする場所	希望をもつて羽ばたけるまち	魅力や愛着を感じ、住みたいと思ふまち	安全で快適な道路や交通アクセスの整ったまち	だれもが安全で快適に暮らし続けることができるまち	犯罪や交通事故がなく、安心して生活できるまち	大人になっても心豊かに学ぶことができるまち	地域で支え合い、暮らしやすい	充実した、災害に強いまち	一人ひとりが健康づくりや病	
全体	397	47.1	23.2	22.4	20.4	20.4	17.1	15.6	15.1	10.6	10.3	9.6	8.8
男性	198	50.5	27.8	24.7	24.7	*13.6	16.2	12.1	16.2	14.6	*6.1	7.6	8.1
女性	179	41.9	18.4	21.2	16.2	*26.8	18.4	20.1	13.4	6.7	*15.1	11.7	9.5
答えたくない	17	52.9	23.5	5.9	17.6	23.5	17.6	5.9	23.5	5.9	5.9	11.8	11.8

調査数	美しく豊かな自然を守り、自	立み慣れた地域で安心して自	活かされ、また訪れたいくなる	花と緑があふれ、いずのくに	にきる体制が整い、身近な病院	消防・救急が速やかに対応で	一人ひとりが個性を生かし、	国内や外国との間で様々な交	流が生まれるまち	将来にわたつて農業や林業を	続けていくことができるまち	限られた資源を有効的に活用	す	将来にわたり、安全でおいし	水を守っていくまち	その他	無回答
全体	397	8.1	7.6	7.1	4.3	4.0	3.8	2.5	1.8	1.5	1.3	0	3.5				
男性	198	8.1	5.6	6.6	2.0	3.5	3.0	2.5	2.0	2.0	1.5	0	3.5				
女性	179	7.3	10.1	7.8	6.7	5.0	5.0	2.2	1.7	1.1	0.6	0	2.8				
答えたくない	17	17.6	5.9	5.9	0	0	0	5.9	0	0	5.9	0	11.8				

どのようなまちづくりに力を入れていくべきかについて性別で差があるかどうかを調べるため、全体と比較し検定を行った結果を数表に付与しました。

「魅力や愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思うまち」「地域で支え合い、暮らしやすい生きがいとともにつくるまち」は女性で全体に対して高くなっていると考えられます。一方、男性は全体に対して低くなっていると考えられ、男女間での差が大きくなっています。

【居住地別】

(全体との有意差検定) **…有意水準 1%で有意差あり *…有意水準 5%で有意差あり

	調査数	安心して子どもを産み、すこやかに育てられるまち	子どもが楽しく学び、生きる力を身につけられるまち	働く場所や買い物のあふれるまち	希望をもつて羽ばたけるまち	魅力や愛着を感じ、住み続けたいと思うまち	安全で快適な道路や交通アクセスの整ったまち	だれもが安全で快適に暮らし続けることができるまち	犯罪や交通事故がなく、安心して生活できるまち	大人になっても心豊かに学ぶことができ、スポーツや文化に親しめるまち	地域で支え合い、暮らしや生きがいをもつていくまち	地震や風水害などへの備えが充実した、災害に強いまち	一人ひとりが健康づくりや病気の予防に取り組むまち
全体	397	47.1	23.2	22.4	20.4	20.4	17.1	15.6	15.1	10.6	10.3	9.6	8.8
市内	68	50.0	16.2	20.6	25.0	14.7	11.8	14.7	17.6	11.8	7.4	7.4	*17.6
市外	329	46.5	24.6	22.8	19.5	21.6	18.2	15.8	14.6	10.3	10.9	10.0	7.0

	調査数	美しく豊かな自然を守り、自然とともに暮らすまち	住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるまち	活かされ、また訪れたくなるまち	花と緑があふれ、いづのくに	消防・救急が速やかに対応できる体制が整い、身近な病院にかかるとのことのできるまち	一人ひとりが個性を生かし、活躍できるまち	国内や外国との間で様々な交流が生まれるまち	将来にわたって農業や林業を続けていくことができるまち	限られた資源を有効的に活用するまち	将来にわたり、安全でおいしい水を守っていくまち	その他	無回答
全体	397	8.1	7.6	7.1	4.3	4.0	3.8	2.5	1.8	1.5	1.3	0	3.5
市内	68	5.9	11.8	10.3	2.9	7.4	2.9	2.9	4.4	0	0	0	4.4
市外	329	8.5	6.7	6.4	4.6	3.3	4.0	2.4	1.2	1.8	1.5	0	3.3

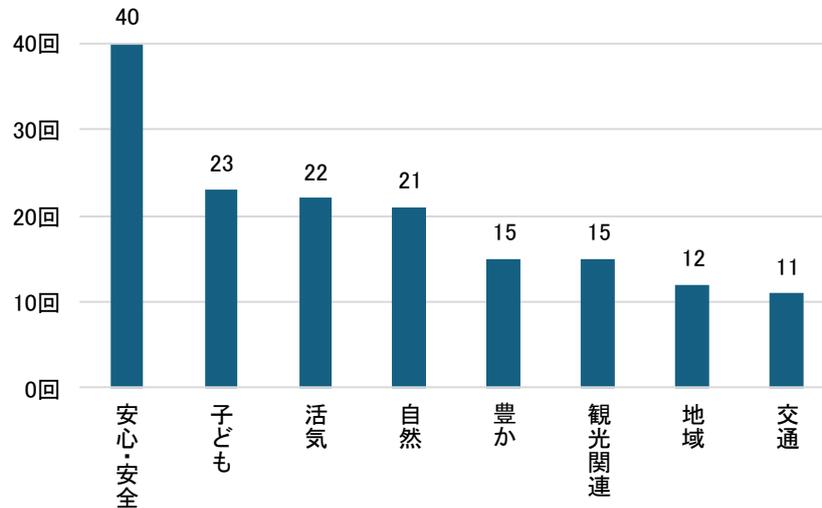
どのようなまちづくりに力を入れていくべきかについて居住地別で差があるかどうかを調べるため、全体と比較し検定を行った結果を数表に付与しました。

「一人ひとりが健康づくりや病気の予防に取り組むまち」は市内で全体に対して高くなっていると考えられます。

4 未来の伊豆の国市をどんなまちにしたいか

G-02 あなたは未来の伊豆の国市をどんなまちにしたいですか。(自由記述)

《名詞の出現回数—上位8件》



※「まち」は対象外としています。「安心」「安全」は「安心・安全」に、「観光」「観光客」などは「観光関連」に、「交通」「アクセス」などの類義語は「交通」にまとめるなど、データの整理を行っています。

17件の名詞(「まち」は除く、出現回数5回以上の名詞)が検出され、このうち出現頻度の上位8件(出現回数10回以上)をグラフに掲載しています。

《回答抜粋》

出現回数の多かったキーワード4件についての回答を抜粋しました。

●安心・安全(40回)

- 安心して住み続けられるまち。(男性 市外)
- 地域の人たちで協力し合い、安心安全に暮らせるまちにしたいです。(女性 市外)
- 子供からお年寄りまであらゆる人々が安心、安全に暮らせるまち。(女性 市外)
- 災害があっても安全に避難できるようなまち。(女性 市外)

●子ども(23回)

- 安心して子供を育てられるまち。(男性 市外)
- 子供がたくさんいて、活気のあるまち。(女性 市外)
- 自然の溢れる中で子供たちが健やかに成長できるまち。(男性 市外)
- 子供手当などのサポートがしっかりしていて、元気な子供たちで溢れるまち。(女性 市外)

●活気(22回)

- 活気のある優しさあふれるまち。(男性 市外)
- 子供がたくさんいて、活気のあるまち。(女性 市外)
- 今の良さ(自然豊か、歴史的資産など)が生かされた、活気あふれるまち。(女性 市外)
- 活気溢れるまち。お年寄りだけではなく、若者主体で作られるまち。(女性 市内)

●自然（21回）

- 自然豊かな住み心地の良いまち。 (男性 市外)
- 都会には無いような自然の美しさを生かしたまち。 (女性 市外)
- 自然の溢れる中で子供たちが健やかに成長できるまち。 (男性 市外)
- 自然が豊かな綺麗なまち。 (女性 市外)

《自由回答の分類結果—上位10項目》

自由回答を内容別に分類した結果、多かった内容10項目は以下の通りです。

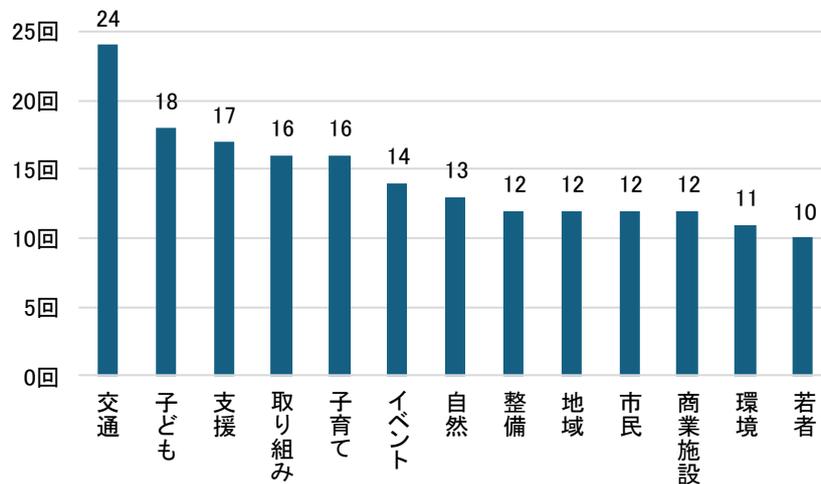
(件)									
暮らしやすいまち	活気があるまち	安心して暮らせるまち	子育てしやすいまち、若者が住みやすく、	人が集まるまち	自然豊かなまち	観光に力を入れるまち	豊かなまち	商業・経済が発展するまち	道路・交通環境が整ったまち
45	28	27	22	19	17	16	13	10	6

子育て、観光振興、地域活性化など、さまざまな面での要望が寄せられています。未来の伊豆の国市には、安心して暮らせる環境や、活気があり子どもや若者にとっても魅力的なまちづくりが望まれています。また、地域内外問わず愛されるようなまちづくりや自然を活かしたまちづくり、地域の繋がりが強いまちづくりも望まれています。

5 思い描いたまちにするために必要な取組

C-03 上記で思い描いたまちにするためには、どのような取組を行ったらよいと考えますか。
(自由記述)

《名詞の出現回数—上位13件》



※「まち」は対象外としています。「交通」「アクセス」などの類義語は「交通」にまとめるなど、データの整理を行っています。

26件の名詞(「まち」は除く、出現回数5回以上の名詞)が検出され、このうち出現頻度の上位13件(出現回数10回以上)をグラフに掲載しています。C-02に比べキーワードが9件多くなっており、要望は多岐にわたっています。C-02と共通するキーワードが9件、共通しないキーワードは17件となっています。共通しないキーワードとしては、「支援」「取り組み」「イベント」などが多くなっています。

《回答抜粋》

出現回数の多かったキーワード5件についての回答を抜粋しました。

●交通 (24回)

- 交通網の発展や利便性の向上。(男性 市外)
- 地域活動を活発にして交通面を良くする。(女性 市内)
- 自然や歴史的資産を残しつつ、交通の便を良くする。(女性 市外)

●子ども (18回)

- 乳幼児を持つ世帯に対して、子供の、医療費、こども園などへの入園費、などの削減。母子、父子世帯などへの進学費用の援助。民生委員などの活用。(男性 市外)
- 子供の夢を叶えるために補助や機会を設けること。(女性 市内)
- 子供を産み、育てやすい環境をつくる。(女性 市外)

●支援 (17回)

- 施設、支援金の充実。(男性 市外)
- 障害者や外国人への支援。(女性 市外)

- 子育て世帯の支援(教育費負担など)。福祉の充実。 (男性 市外)
- 取り組み (16回)
 - 子供が地元に残れるような取り組み。 (男性 市内)
 - 全ての人が生活しやすいようにサポートする取り組み。 (女性 市外)
 - 施設, 福祉の充実のための取り組み。 (女性 市外)
- 子育て (16回)
 - 子育てしやすい環境を整える。 (男性 市外)
 - 自然はもちろんのこと子育てなどに関する設備や施設の紹介。SNSの利用。 (男性 市外)
 - 子育て世帯の支援(教育費負担など)。福祉の充実。 (男性 市外)

《自由回答の分類結果—上位10項目》

自由回答を内容別に分類した結果、多かった内容10項目は以下の通りです。

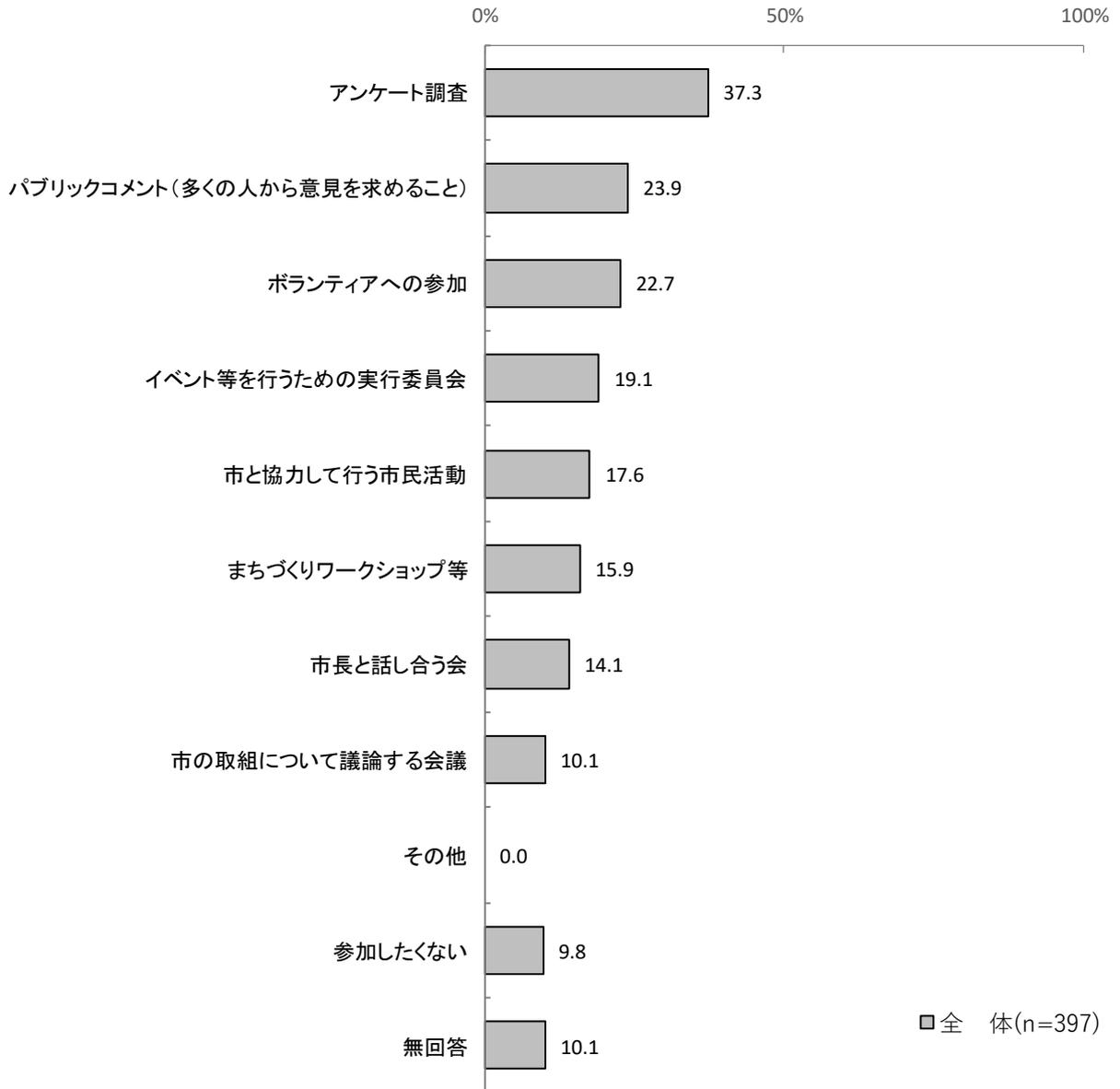
店舗・施設の充実	子育て・福祉・医療の充実	道路・交通環境の整備	イベント等の開催	環境対策	住民意識	防犯・防災対策	各種産業の育成・発展	情報発信	自然保護
24	22	21	19	16	14	12	11	9	9

(件)

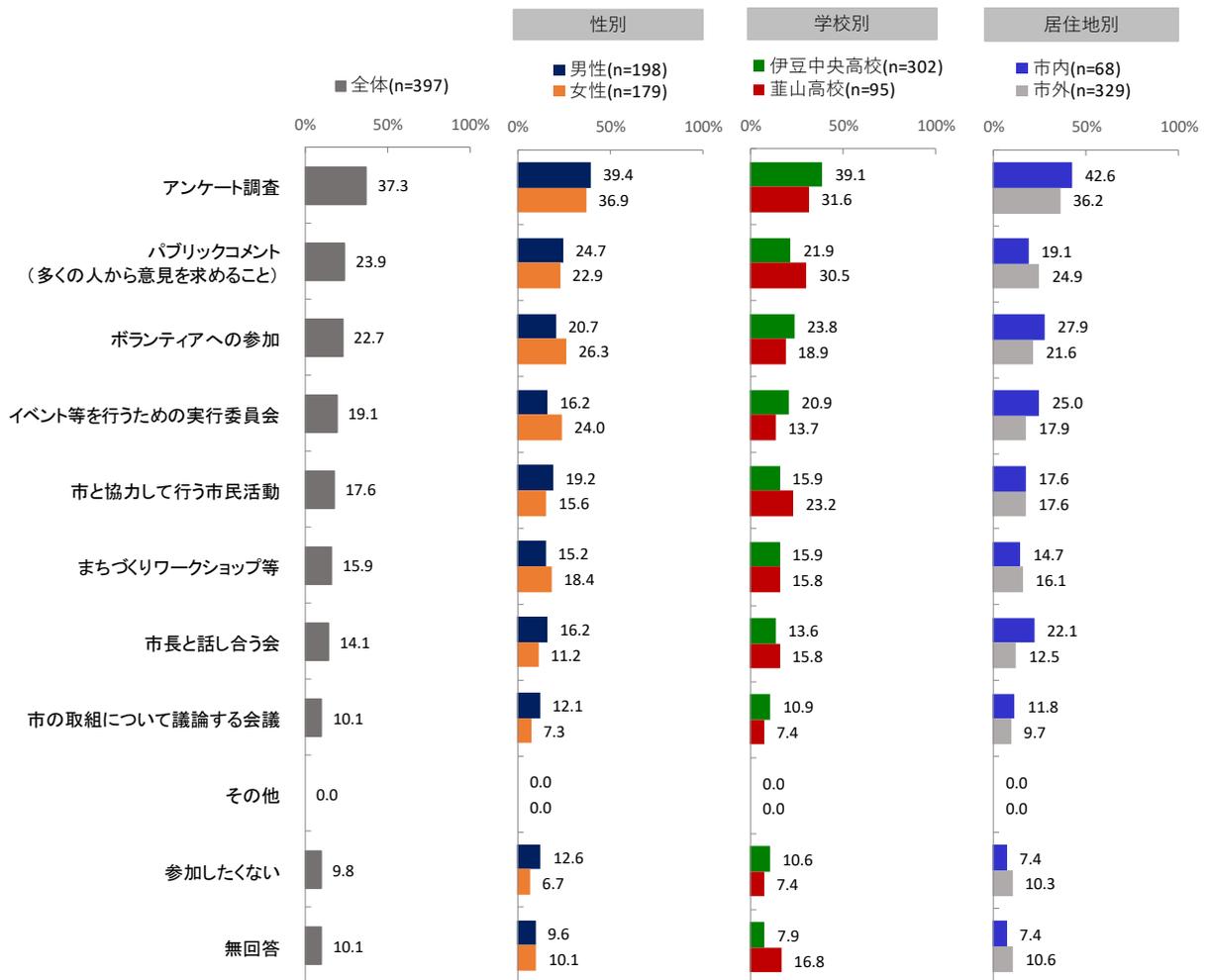
商業施設や娯楽施設の充実させることで生活環境の向上が望まれるとともに、子育て中の若い世代への支援をすることで人口減少を防ぐ対応が望まれています。交通網の整備を望む意見など、インフラ整備については世代を問わず関心が高いものとなっています。また、若者を呼び込むようなイベントの開催を求める要望も多く見られます。市民の声を反映し、全ての人が生活しやすいような積極的な支援・取組が求められています。

6 市民が主役となってまちづくりを進めていくために必要な（参加したい）取組

G-04 市民が主役となってまちづくりを進めていくためには、どのような取組が必要だと思いますか。
あなたが参加したいと思う取組を教えてください。（○は3つまで）



市民が主役となってまちづくりを進めていくために必要な（参加したいと思う）取組については、「アンケート調査」37.3%が最も多く、以下「パブリックコメント（多くの人から意見を求めること）」23.9%、「ボランティアへの参加」22.7%、「イベント等を行うための実行委員会」19.1%、「市と協力して行う市民活動」17.6%と続きます。一方、「参加したくない」は9.8%となっています。



市民が主役となってまちづくりを進めていくために必要な（参加したいと思う）取組について性別で見ると、男性は「市長と話し合う会」「参加したくない」において女性より5ポイント以上高くなっています。女性は「ボランティア活動への参加」「イベント等を行うための実行委員会」において男性より5ポイント以上高くなっています。

学校別で見ると、2校ともに「アンケート調査」が最も多いのは全体と同じですが、次いで、伊豆中央高校は「ボランティアへの参加」が多くなっています。

居住地別で見ると、いずれも「アンケート調査」が最も多いのは全体と同じですが、次いで、市内は「ボランティアへの参加」が多くなっています。

IV 調査票

まちづくりアンケートへの協力をお願い

みなさんは「総合計画」という言葉を知っていますか？

総合計画は、8年～10年という長い時間をかけ、市や市民、民間の団体などが協力しながら、より良いまちを創っていかうということを決めた計画です。計画では、未来の伊豆の国市の姿と、その実現のためにどんな取組を進めていくのかを決めています。

これまで、市では、「住んでいる人も、訪れる人も、歴史や文化にあふれる美しいまちで、温泉や食事を楽しみ、ほっとできるまち」や「未来に向かって羽ばたくまち」を目指して、様々な取組を進めてきました。

しかし、いまの総合計画は、平成29年度から令和7年度までの取組を決めた計画なので、令和8年度からどんな取組を進めていくかを新しく決めていく必要があります。

そこで、いま伊豆の国市に住んでいる（通っている）みなさんや、これから伊豆の国市に住む人が、今後も「住みたい」「住み続けたい」と思えるようなまちをともに創っていくためにどんなことをすればいいのか、どんなことができるのかについて、みなさんの意見を聞かせてください。

例えばこんなことをお聞きします！

- 伊豆の国市の住みやすさをPRするには？
- 「住みたい」「住み続けたい」まちとなるためにどんなことに力を入れていくべき？
- 未来の伊豆の国市をどんなまちにしたい？

回答方法

右のQRコードを読み取り、
Logoフォームで回答してください。



期限

令和6年7月3日（水）までに回答をお願いします。



アンケートの目的と結果の使い方

今回のアンケートは、未来の伊豆の国市の姿や、その実現のために行う取組を考える材料とするために行うものです。

総合計画は、長い時間をかけてより良いまちを創っていくための計画なので、幅広い年代の人から多くの意見を集めることが重要と考え、みなさんだけでなく、中学生や市内に住む18歳以上の方にもアンケートを行っています。

中でも、「住みたい」「住み続けたい」まちとなるためにどんなことに力を入れていくべきか、未来の伊豆の国市をどんなまちにしたいかについては、全員に同じ質問をしています。

みなさんは10年後、20代後半です。社会で働いていたり、子育てをしていたり、様々な形で生活していることでしょう。伊豆の国市に住んでいるかもしれないし、もしかすると市外に住んでいるかもしれません。

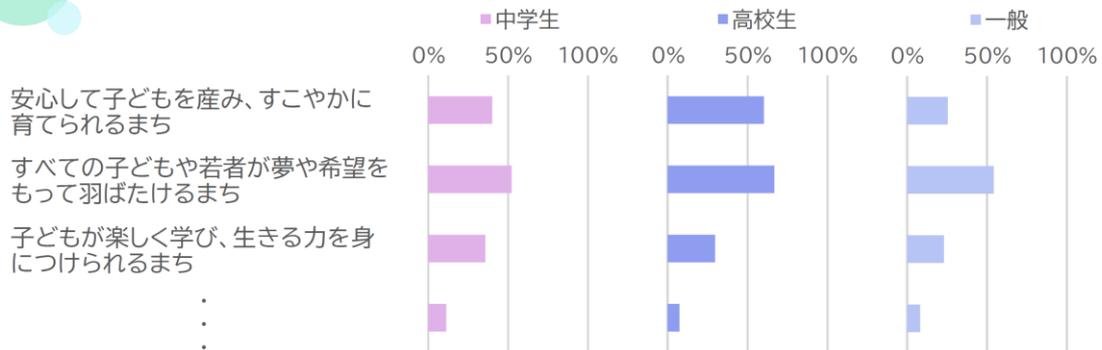
そのとき、伊豆の国市に住んでいてよかったな、もしくはまた伊豆の国市に戻りたいな、と思えるようなまちはどんなまちだろうということを、いっしょに考えてほしいと思います。

アンケートの結果は、統計的に集計し、グラフや図などに変えて、分かりやすい形でまとめたり、年代や性別ごとに比較したりします。

また、今後の市民ワークショップや市の会議等で活用するとともに、市のHPで公開し、総合計画についてまとめた冊子にも載せる予定です。

結果の公表イメージ

「住みたい」「住み続けたい」まちとなるために、今後、どんなことに力を入れていくべき？



A あなたのことを教えてください。

A-01 性別を教えてください。

1 男性	2 女性	3 答えたくない
------	------	----------

A-02 現在通っている学校を教えてください。

1 伊豆中央高校	2 韮山高校
----------	--------

A-03 学年を教えてください。

1 2年生	2 3年生
-------	-------

A-04 住んでいるところを教えてください。

1 市内	2 市外
------	------

A-05 将来どんな仕事をしたいと考えていますか。(○は3つまで)

1 農家(農業・林業・畜産)	18 弁護士・裁判官
2 漁師・潜水士・船員(水産業)	19 新聞記者・テレビ関係者・アナウンサー
3 エンジニア・技術者	20 政治家・議員
4 会社員	21 公務員
5 建築家・大工	22 消防士
6 IT・プログラミング技術者・ゲームデザイナー	23 獣医師・飼育員
7 スポーツ選手	24 医師・歯科医師
8 芸能人・Youtuberなどのネット配信者	25 薬剤師
9 歌手・アイドル・音楽家	26 看護師
10 美容師・スタイリスト	27 介護士など
11 ファッションデザイナー・ショップ店員・モデル	28 パイロット・キャビンアテンダント
12 パティシエ・パン屋	29 ツアーガイド・ホテルのコンシェルジュなど
13 シェフ・コック・板前	30 バスや電車の運転手・バスガイド
14 保育園・幼稚園の先生	31 マンガ家・イラストレーター
15 小中学校や高校の先生	32 専業主婦・専業主夫
16 大学教授・研究者(科学者・考古学者など)	33 決めていない
17 警察官・自衛官	34 その他()

B 伊豆の国市での暮らしについて、お聞きします。(市内に住んでいる方のみ)

B-01 あなたが、伊豆の国市に住んだことのないひとに、伊豆の国市の住みやすさを紹介するとしたら、どんなふうにPRしますか。

(自由に記述してください)

B-02 あなたが普段の暮らしの中で困っていることはありますか。

(自由に記述してください)

C

伊豆の国市の未来の姿と、その実現のためにどんな取組を進めていくのかを定めた計画（総合計画）をつくるため、お聞きします。

C-01 「住みたい」「住み続けたい」まちとなるために、今後、市はどのようなまちづくりに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 安心して子どもを産み、すこやかに育てられるまち
- 2 すべての子どもや若者が夢や希望をもって羽ばたけるまち
- 3 子どもが楽しく学び、生きる力を身につけられるまち
- 4 大人になっても心豊かに学ぶことができ、スポーツや文化に親しめるまち
- 5 一人ひとりが健康づくりや病気の予防に取り組むまち
- 6 住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるまち
- 7 地域で支え合い、暮らしや生きがいをともにつくるまち
- 8 一人ひとりが個性を生かし、活躍できるまち
- 9 魅力や愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思うまち
- 10 いずのくにの魅力が最大限に活かされ、また訪れたいくなるまち
- 11 国内や外国との間で様々な交流が生まれるまち
- 12 働く場所や買い物をする場所があり、にぎわいのあふれるまち
- 13 将来にわたって農業や林業を続けていくことができるまち
- 14 地震や風水害などへの備えが充実した、災害に強いまち
- 15 消防・救急が速やかに対応できる体制が整い、身近な病院にかかることのできるまち
- 16 犯罪や交通事故がなく、安心して生活できるまち
- 17 美しく豊かな自然を守り、自然とともに暮らすまち
- 18 限られた資源を有効的に活用するまち
- 19 将来にわたり、安全でおいしい水を守っていくまち
- 20 だれもが安全で快適に暮らし続けることのできるまち
- 21 安全で快適な道路や交通アクセスの整ったまち
- 22 花と緑があふれ、いずのくにならではの景色が広がるまち
- 23 その他（ ）

C-02 あなたは未来の伊豆の国市をどんなまちにしたいですか。

（自由に記述してください）

C-03 上記で思い描いたまちにするためには、どのような取組を行ったらよいと考えますか。

（自由に記述してください）

C-04 市民が中心となってまちづくりを進めていくためには、どのような取組が必要だと思いますか。あなたが参加してみたいと思う取組を教えてください。（〇は3つまで）

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1 アンケート調査 | 6 イベント等を行うための実行委員会 |
| 2 市長と話し合う会 | 7 市の取組について議論する会議 |
| 3 市と協力して行う市民活動 | 8 パブリックコメント（多くの人から意見を求めること） |
| 4 ボランティアへの参加 | 9 その他（ ） |
| 5 まちづくりワークショップ等 | 10 参加したくない |

C-05 総合計画をつくるにあたり、市では今後も様々な方法で、市にかかわるみなさんの意見をお聞きしていきます。令和6年9月～11月には、未来の伊豆の国市について考えるワークショップを3回程度実施する予定です。興味がある、または、実際に参加してみたいという方には、案内を送りたいと思いますので、お名前を記入してください。

※今回の質問は参加してみたいかを聞くもので、参加申込ではありません。お名前を記入していただいた方には、8月頃に、学校を通じて募集の案内を送らせていただきます。

（氏名）

伊豆の国市
まちづくりに関するアンケート
(高校生)
調査結果報告書

令和6年8月
伊豆の国市

伊豆の国市 企画財政部 企画課
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340番地の1
TEL : 055-948-1413
FAX : 055-948-2915